

2024年度「光華EDUALプログラム（全学、応用基礎レベル）」

自己点検・評価報告書

2025年10月9日

京都光華女子大学 自己点検評価委員会

1. 点検・評価の実施と結果

全学科を対象とする「光華EDUALプログラム（応用基礎レベル）」について、2024年度の実施状況およびプログラムの達成・進捗状況の点検・評価を行い、応用基礎レベルのデータサイエンス教育を概ね適切に実施していることを確認した。詳細は以下のとおりである。

2. プログラムを構成する科目と修了要件、および2024年度の履修状況

(1) プログラムを構成する科目と2024年度の履修状況

本プログラムを構成する科目の、2024年度の履修状況は表1のとおりであった。2・3年次配当科目の必修科目（「AIへのアプローチ」、「データサイエンスへのアプローチ」、「データサイエンスPBL」）のうち、「AIへのアプローチ」は13名（2023年度）から49名へ、「データサイエンスPBL」は7名から32名へと履修者が大幅に増加した。一方、「データサイエンスへのアプローチ」は10名から13名へと微増にとどまった。また、1年次から履修可能な選択科目である「データサイエンスのための数学」、「プログラミング入門」、「くらしのなかの統計学」は多くの履修者を確保している。

表1 プログラムを構成する科目と2024年度の履修状況

区分	科目名	単位数	配当年次／開講期間	履修者数 (学年毎、総数)				単位修得率
				1	2	3・4	合計	
必修	京都光華の学び	1	1／前期	325	16	26	367	86%
	データサイエンス入門	1	1／後期	321	22	0	343	94%
	AIへのアプローチ	2	2・3／後期	-	40	9	49	67%
	データサイエンスへのアプローチ	2	2・3／前期	-	12	1	13	92%
	データサイエンスPBL	2	2・3／後期	-	25	7	32	81%
選択	データサイエンスのための数学	2	1・2／後期	15	4	5	24	100%
	プログラミング入門	2	1・2／後期	70	3	5	78	95%
	くらしのなかの統計学	2	1・2／後期	43	12	6	61	80%

(2) プログラムの修了要件と修了状況

光華EDUALプログラム（応用基礎レベル、全学）対象者は2021年度以降入学者であり、修了要件は、プログラム必修5科目8単位に加え、選択科目から1科目以上を取得することで

ある。

2022年度の修了者は0名、2023年度の修了者は6名（キャリア形成学科5名、心理学科1名）であったが、2024年度は新たに2023年度入学生（2年生）9名が修了した。その内訳は、キャリア形成学科4名、健康栄養学科2名、心理学科2名、看護学科1名となり、複数の学科から修了者を輩出した。

3. 履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

応用基礎レベルプログラムの実質的な履修は、2・3年次配当の3つのプログラム必修科目「AIへのアプローチ」、「データサイエンスへのアプローチ」、「データサイエンスPBL」の履修により開始される。このうち「AIへのアプローチ」については、オンデマンド科目として開講し、応用基礎レベルを目指す学生にとって履修しやすい環境を整備している。対面授業で実施する残り2科目については、リベラルアーツ科目ゾーンの木曜日に配置することで履修環境の改善を図ったものの、「データサイエンスへのアプローチ」（前期木1開講）の履修者数増加には至っていない。

履修ガイダンスの内容見直しや、開講方法を含めた履修環境の改善を検討することで、履修者増を目指す必要がある。